

Systemex

BeFine!

第41期 第3四半期報告書

2007年10月1日～2007年12月31日

証券コード 6869



シスメックス株式会社

検体検査事業からライフサイエンス事業へと活躍の場を拡げつつあるシスメックス。健康への関心がますます高まる社会のなか、当社は健やかな未来に独自の技術と製品で貢献してまいります。「Be Fine! (健やかに!)」は、シスメックスグループと株主の皆様の架け橋として四半期ごとに発行しています。

特集

乳がん治療における 早期発見の重要性

救命の鍵をにぎる
検診のすすめ 1

業績の推移／トピックス 5

製品一覧 6

IR・広報室からのお知らせ



特集

乳がん治療における 早期発見の重要性

—救命の鍵をにぎる検診のすすめ—



代表取締役社長
インタビュー 家次 恒

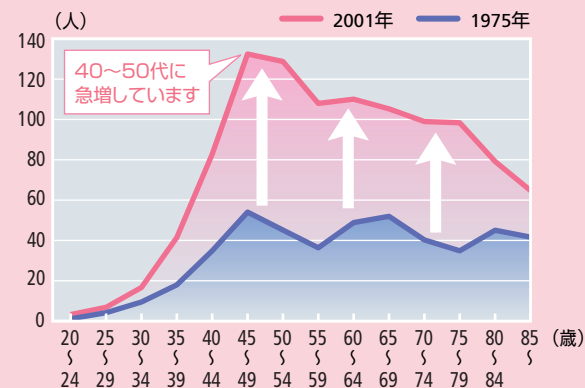
現在、日本女性の間で増え続けている乳がん。早期に発見すれば、かなりの高い確率で治癒することをご存知ですか？

いまや乳がんは早期であれば約90%の患者さんが治癒する“治せるがん”です。しかし残念なことに、早期発見に欠かせない検診の受診率がまだまだ低いのが現状です。

乳がん治療における検診の重要性、そして乳がん手術を受ける患者さんのQOL*向上を目指すシスメックスの取り組みについて、家次社長に伺いました。

*QOL:Quality of life (クオリティ・オブ・ライフ)とは「生活の質」という意味で、「人が人としての尊厳を保ち、より良く健康に生きること」を指しています。

●乳がんを発症する人の数 (人口10万人あたり)



出典：国立がんセンターがん対策情報センター

乳がんは治らない病気ですか？

患者さんの数は年々増加していますが、**早期に発見・治療すれば、決して怖い病気ではありません。**

乳がんは、女性が最も発症しやすいがんです。特に30～60歳の女性で、がんで亡くなる方の中では、最も多い原因が乳がんによるものです。乳がんの患者さんは増え続けており、日本女性の20人に1人が乳がんを発症すると言われています。

残念ながら、現在乳がんの予防法はありません。しかし、乳がんは早期に発見すれば、約90%の患者さんが治癒する“治せるがん”です。決して怖い病気ではありません。全てのがんに言えることですが、乳がんにおいては、特に早期発見が重要です。

乳がんの早期発見方法について教えてください。

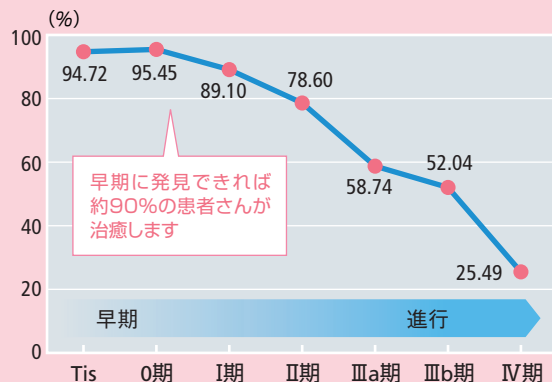
月に1回の自己検診の習慣をつけること、そして年に1回の医療機関での定期検診をおすすめします。

乳がんは身体の表面に近い部分に発生するため、自分でも見つけることができる数少ないがんのひとつです。毎月1回、お風呂やシャワーの時に指で触れたり、鏡の前で観察することで、気になるしこりやいつもと違う変化がないか確認してみてください。

そしてなにか変だと感じたら、決してそのままにせず、乳腺専門の医療機関で診察を受けてください。こうした自己検診で、乳がんを早期に発見している方がたくさんいらっしゃいます。

医療機関での検査方法も大きく変化しています。以前は医師による視触診が中心でしたが、マンモグラフィと

●乳がんの10年生存率（1990年治療開始）



Tis… 乳管内にとどまるがん。非浸潤がん（超早期）

0期… しこりや画像診断での異常な影を認めないもの

I期… 2cm以下のしこりで、リンパ節への転移がないと思われるもの

II期… 2cmを超える5cm以下のしこりがある、もしくはリンパ節への転移が疑われるもの

IIIa期… しこりが5cmを超えるもの

IIIb期… しこりが皮膚などに及んでいるもの

IV期… しこりの大きさを問わず、他の臓器に転移がみられるもの

出典：日本乳癌学会「全国乳がん患者登録調査報告第29号」

月1回のチェックがおすすめ

* 自己検診のしかた *

1 乳房を鏡で注意深く見る

- 鏡の前で、大きさ、左右の違いなどを見ます。
- 腕を上下させたり、上半身を左右に回転させたりして、くぼみや乳頭のへこみ、皮膚の異常がないかを見ます。
- 乳頭に湿疹などがないかもチェックし、分泌液が出ていないかも見ます。



2 セッケンを体につけながら触る

- 入浴時に両側の乳房にせっけんをつけながら行います。
- まず腕を下げ、反対側の指をそろえて、指先の腹側で静かに軽く圧迫し、しこりがないかを調べます。
- 乳頭を中心に円を描くようにするが、肋骨に沿って外側から内側へ動かすようにします。
- チェックする範囲は、鎖骨から乳房の下、脇の下から胸骨のところまでです。



3 仰向けに寝て触る、乳頭を調べる

- 仰向けに寝て、調べるほうの肩の下にバスタオルを入れます。
- まず腕を下げた状態で、入浴時の触診と同じことを行います。
- 次に、腕を上げて同様に行います。
- 乳頭をつまんで、分泌液が出ないかどうかを見ます。

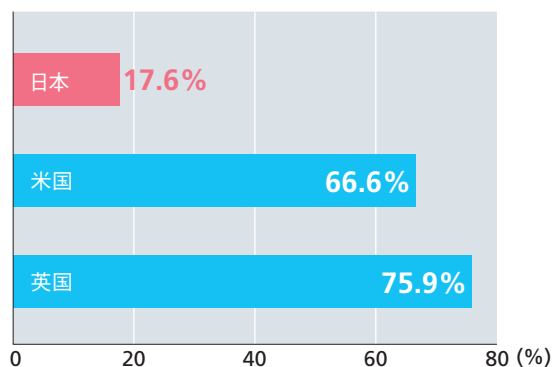


出典：シスメックス株式会社発行「乳がんのおはなし」
国立病院機構大阪医療センター 乳腺専門医 増田慎三先生 著

いう乳房専用のX線撮影や超音波を使った画像診断で、自己検診ではしこりとして確認できない、より小さな乳がんを発見できるようになりました。現に欧米では、マンモグラフィの普及に伴い、検診の受診率が向上し、乳がんによる死亡率が減少に転じています。

日本では欧米に比べ、非常に検診の受診率が低いのが現状です。ぜひ、積極的に検診を受けてください。また、若いからといって油断はできません。乳がんを発症する人は30～40代にかけて急増し、他のがんに比べて発症が若年化しているのが特徴です。決して「私は大丈夫」などと思わず、年に1回の定期検診の受診をおすすめします。

●乳がん検診の受診率



出典：(日本) 2005年
厚生労働省 地域保健・老人保健事業報告(老人保健編)
(米国) 2005年
NCI Cancer Trends Progress Report
(英国) 2005年/2006年
NHS BREAST SCREENING PROGRAMME

早期発見が重要である理由は？

リンパ節転移がない状態であれば、90%以上の治癒が可能なおえ、患者さんの負担を軽くすることができるからです。

乳がんは、乳房にある乳腺*に発生します。最初のうちは乳腺の中にとどまっていますが、そのままにしておくと乳腺の外に広がり、脇の下にあるリンパ節*に転移し、やがてリンパ節から身体全体へと転移が広がっていきます。乳がんを早期に発見し、リンパ節転移がない状態であれば、90%以上の治癒が可能です。

手術は、乳がんの病巣を取り除くために行われます。以前は、たとえ1cmのがんでも乳房を切除していました。しかし現在では、がんが比較的小さな段階で見つかるようになったことや、手術前の化学療法でがんを小さくできるようになったことで、切除範囲を最小限

にとどめ、乳房を残すこともできるようになりました。

また、乳がんの手術範囲は、リンパ節転移の有無によっても異なります。特に、脇の下のリンパ節は乳がんが最も転移しやすい場所です。そのため以前の乳がん手術では、転移の可能性が高いとして、乳房とともに脇の下のリンパ節も全て切除していました。その結果、「肩関節が動きにくくなる」「重いものを持てない」など、患者さんの負担は重く、手術後の日常生活に大きく影響し、当時から「転移していなければ、切除する必要はないのでは？」という意見がありました。

現在では、病巣のがん細胞が最初にたどり着くリンパ節(センチネルリンパ節)に転移がなければ、95%以上の確率で他のリンパ節に転移していないことがわかっています。そのため、手術中に「センチネルリンパ節」を検査し、転移がなければ、脇の下のリンパ節を切除しない手術方法が広まっています。

シスメックスは ピンクリボン運動を応援しています

ピンクリボンは乳がんの早期発見・早期診断・早期治療の大切さを伝えるシンボルマークです。女性の8人に1人が乳がんを発症するといわれるアメリカで1980年代から盛んになった市民運動の「思い」を表しています。日本では2000年頃から

啓発イベントを実施したり、ピンクリボンをあしらった商品を販売するなど、乳がんの早期発見を啓発するための活動が盛んになってきました。シスメックスは2004年からこの運動に協力しています。



*乳腺:母乳をつくる場所。

*リンパ節:細菌やウイルスをはじめ、体に悪影響を及ぼす異物から体を守るための免疫器官のひとつ。

乳がん手術におけるシスメックスの取り組みとは？

転移の有無をより高精度に判定し、 患者さんのQOL向上に貢献する 新しい検査技術を提案しています。

「センチネルリンパ節」を用いた検査は、乳がん手術を受ける患者さんの負担を大きく軽減しました。しかし、この検査にも課題があります。それは、正確な判定には技術と経験が必要とする検査であるということです。手術中という限られた時間内で、リンパ節の断面を顕微鏡で観察しなければならないため、手術中に転移がないと判断されても、手術後の詳しい検査で転移が発見され、再手術が必要になるケースもあります。

こうした課題に対し、シスメックスは独自の遺伝子増幅法（OSNA*）と、その原理を応用した「リンパ節転移迅速診断システム」を開発しました。

このシステムは、リンパ節の断面のみを調べていた従来の検査法と異なり、リンパ節全体をすりつぶして検査するので、転移の見落としがほとんどありません。さらに、測定時間が約30分と短く、手術中の検査が可能です。このため、一度の手術で的確な措置を完了させることができ、患者さんの再手術の負担は軽減され、QOL向上につながると考えています。

この製品はすでに欧州市場に導入され、高い評価をいただいています。日本では厚生労働省の認可取得のため、手続きを進めています。

このシステムが患者さんのQOL向上のお役に立つためにも、まずは早期発見が望まれます。定期的な自己検診、および医療機関での検診をおすすめします。

シスメックスにとって、豊かな健康社会への貢献は重要なテーマであり、今後も価値の高い検査技術の創出を目指して研究開発を進めていきます。



代表取締役社長

家次恒

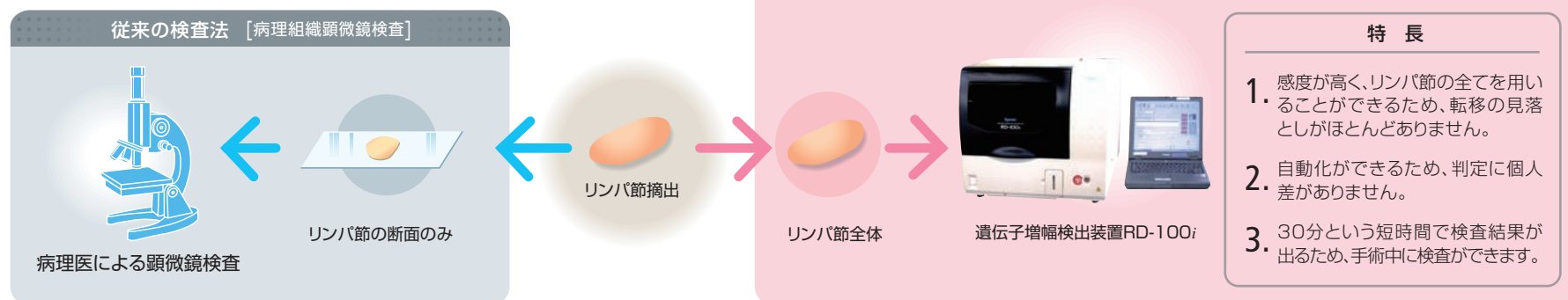
いえずく ひさし

【出身地】大阪

【略歴】大学を卒業後、銀行に13年間勤務。その後、東亜医用電子株式会社（現シスメックス株式会社）に入社。1996年、代表取締役社長に就任。

【趣味】読書、ゴルフ、スポーツ観戦 【信条】「意あらば通す」

●OSNA（直接遺伝子増幅法）により高精度・簡便・短時間の検査が可能に



*OSNA（直接遺伝子増幅法）：摘出したリンパ節を溶液に溶かし、その中に含まれるがん細胞の遺伝子の有無を調べる方法。

業績の推移／トピックス

業績の推移 | 当第3四半期（4月～12月）の連結売上高は、783億円（前年同期比10.7%増）となりました。仕向地別売上高では、国内売上高は、厳しい市場環境を反映し、235億円（前年同期比8.3%減）、海外売上高は547億円（前年同期比21.6%増）となりました。

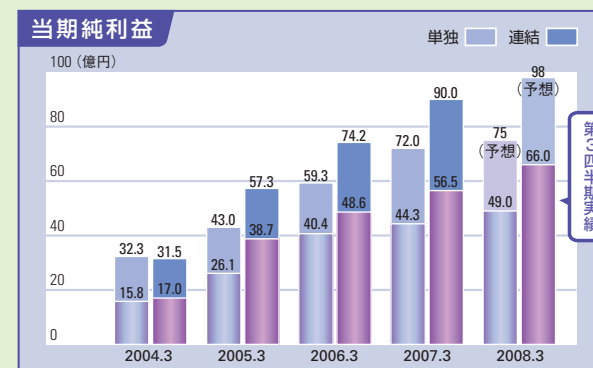
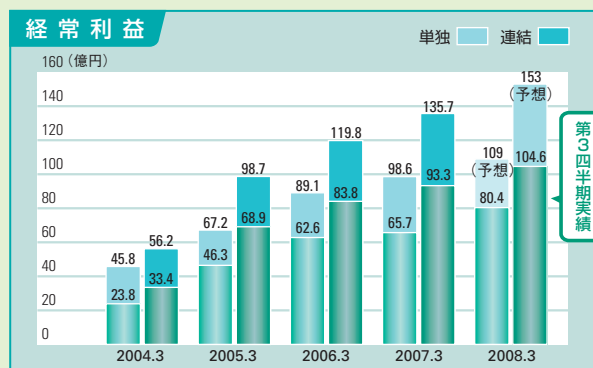
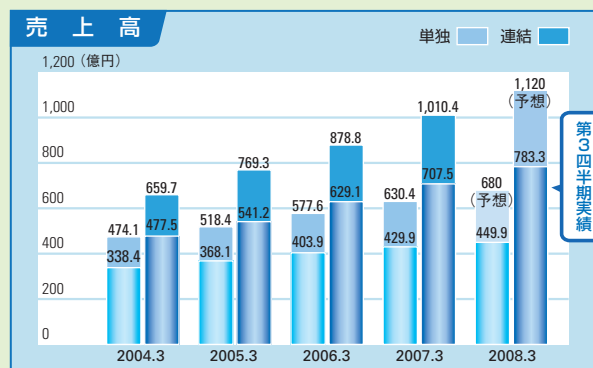
利益面では、営業利益は海外での販売・サービス体制の強化に伴う販売サービス費用の増加などにより、販売費及び一般管理費が増加したものの、増収により98億円（前年同期比14.6%増）となりました。経常利益は為替差益などにより104億円（前年同期比12.1%増）、四半期

純利益は66億円（前年同期比16.8%増）となりました。

地域別の状況として、日本においては、医療費の増加抑制を目的とする医療制度改革の影響により引き続き厳しい状況が続くなか、10月に免疫血清検査分野の新製品として全自動免疫測定装置HISCL-2000iを発売しました。また、尿分野においては、尿分析装置UF-1000iの販売が好調に推移しました。顧客層拡大方針のもと、販売・サービス体制強化により直販体制が定着しつつある米国では、開業医市場において新たにMcKesson社と代理店契約を締結しました。欧州では主要国において医療費抑制政策が継続する

厳しい市場環境のもと、東欧・ロシア・中東・アフリカなどの新興国への展開も積極的に進めることにより販売拡大に努めました。特に、中東においては国家主導の大型案件を獲得しました。中国では政府主導の入札案件が増加するなど、医療インフラの整備と質向上に向けた取り組みを背景に、各種検査装置の高機能モデルの販売台数が増加するとともに、試薬の販売が好調に推移しました。アジア・パシフィックでは、タイにおける直接販売・サービスを開始するなど販売網の整備を進めました。

なお、通期の業績予想に変更はありません。



TOPICS トピックス・四半期の動向

販売・サービス子会社シスメックス カナダを設立

2007年10月、カナダに現地法人シスメックス カナダを設立しました。当社は、カナダにおいて1980年代から販売代理店を通じて間接的に販売・サービスを行ってまいりました。今年1月より検体検査機器・試薬、ならびに検査情報システムに関して、市場への直接販売・サービスを開始し、グループの総合力を活かしたソリューションを提案してま

いります。カナダにおける販売・サービス体制を強化することにより、検査のさらなる質の向上と業務の効率化に貢献するとともに、当社ビジネスの拡大を図ります。



2007/10-12

10月 >>

血液中のたんぱく質などを測定する「全自動免疫測定装置HISCL-2000i」を発売

11月 >>

当社技術が「平成19年度近畿地方発明表彰」を受賞

12月 >>

動物検査分野最大手のアイデックス社が運営する動物検査センターに当社血球分析装置を納入開始

製品一覧

検体検査

■総合血液検査システム



HSTシリーズ



XE-Alpha N

■血球計数検査



多項目自動血球分析装置 XE-5000



多項目自動血球分析装置 XT-2000i



多項目自動血球分析装置 XS-1000i

■血液凝固検査



全自動血液凝固測定装置
CS-2000i



全自動血液凝固測定装置
CA-500

■免疫血清検査



免疫凝集測定装置
PAMIA-40i



全自動免疫測定装置
HISCL-2000i

■尿検査・便検査



全自動尿中有形成成分分析装置
UF-1000i

■POC検査



多項目自動血球計数装置
pocH-100i



自動血液凝固測定装置
CA-50



呼吸器感染症迅速診断キット
ポクテムS インフルエンザ

■検体検査試薬



IT

■検査情報システム



臨床検査情報システム SIS



血液細胞画像ファイリングシステム LAFIA

新規事業

■産業用粒子計測



フロー式粒子像分析装置
FPIA-3000



シースフロー電気抵抗式粒度分布
測定装置 SD-2000

■ヘルスケア



末梢血管モニタリング装置
ASTRIM SU

ライフサイエンス

乳がんのリンパ節転移を手術中に判定



遺伝子増幅検出装置 RD-100i

シスメックスのライフサイエンス事業における初の製品として、2006年4月より欧州での市場導入を開始しました。リンパ節組織内の遺伝子を抽出・増幅し、約30分で乳がんのリンパ節転移の有無を検出します。

お買い物ついでに健康チェック!

健康管理支援サービス※「タッチで続ける健康日誌」



1～4の測定と設問への回答結果をもとに、健康情報をご提供するサービスです。現在、全国のイオングループ29店舗の店頭でご利用いただけます。
(2008年1月25日現在)

詳しくはホームページをご覧ください。 <http://prowell.jp>

※本サービスで提供される内容は、病気を診断するものではありません。
健康状態に不安がある場合は医師の診察を受けてください。

* IR・広報室からのお知らせ *

日経アニュアルレポートアワード2007 にて『特別賞』を受賞!

アニュアルレポートをファンドマネージャーやアナリストが審査・評価する同表彰制度(日本経済新聞社主催)は、今年で10回を数えます。

今年度は、エントリー総数118社中、『最優秀賞(1社)』にトヨタ自動車、『優秀賞(2社)』にベネッセコーポレーションおよび資生堂、『入賞』に13社(当社含む)が選定されました。

当社は、『入賞』に加え今年初めて創設された『特別賞』も受賞し、“ユニークな事業内容が持ち味な企業で、その魅力を投資家に熱心にアピールしている作品”として評価されました。

日本語版ダウンロードサイト:
http://www.sysmex.co.jp/ir/data_irreport/annual/index.html



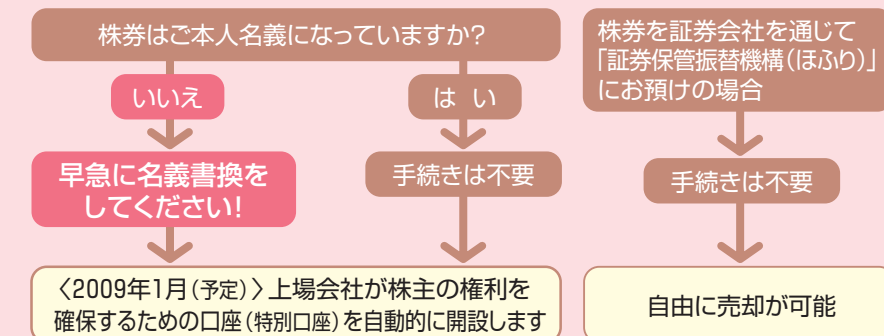
アニュアルレポート2007

株券の電子化についてご存知ですか? 電子化の実施が迫っています

株券の電子化が2009年(平成21年)1月に実施^{※1}される予定です。上場会社の株券は電子化後無効になり、株主の権利は電子的に証券会社などの金融機関の口座で管理されることになります。



株券をお手元(自宅、貸金庫など)にお持ちの場合は、必ずご確認ください。



※1正式には政令により実施日が決定されますが、経済界、金融界としては、2009年(平成21年)1月を実施目標として準備を進めています。

※2「証券保管振替機構(ほふり)」についての詳細は各証券会社へお問い合わせください。

(IR・広報室 H・Y)

●株主メモ

(2007年12月31日現在)

■事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
■定時株主総会	6月
■基準日	定時株主総会 3月31日/期末配当金 3月31日/ 中間配当金 9月30日 その他必要がある場合は、 あらかじめ公告して設定します。
■公告掲載新聞	日本経済新聞
■上場証券取引所	東京証券取引所市場第1部 大阪証券取引所市場第1部
■証券コード	6869
■単元株式数	100株

■株式事務

株主名簿管理人	〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒530-0004 大阪市北区堂島浜一丁目1番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒530-0004 大阪市北区堂島浜一丁目1番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話 0120-094-777 (通話料無料)
(郵便物送付先・ 電話照会先)	
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店 野村證券株式会社 全国本支店

●会社概要

(2007年12月31日現在)

■商号	シスメックス株式会社 SYSMEX CORPORATION (1998年10月1日東亜医用電子株式会社から商号変更)
■設立年月日	1968年2月20日
■資本金	86億62万円
■格付け	A (R&I:格付投資情報センター)
■従業員数	1,314名 ※上記の従業員数には関係会社への出向者209名 および嘱託、パートタイマー131名は含んでおりません。
■主な事業の内容	臨床検査機器、検査用試薬、粒子分析機器ならびに 関連ソフトウェアなどの開発・製造・販売・輸出入
■本社	〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1丁目5番1号 TEL (078) 265-0500 FAX (078) 265-0524

シスメックス株式会社

www.sysmex.co.jp

再生紙、大豆油インキを使用しています。